

児の森 自然観察会

9 月

活動時間	午前9時15分～ 12 時
天 候	曇り雨
気 温	駐車場 度
	わくわく広場集合
分布調査	メッシュ番号 8 : 20

調査日	平成29年9月2日(土)
参加者	観察人 7 人
	一般 9 人
資 料	秋の七草 夏の七草

分 類	種 類	
草本	花	イタドリ(雄)、ウワバミソウ、キツネノマゴ、クズ、スベリヒユ、タカサブロウ、ヌスビトハギ、ベニバナボロギク、ヤブタバコ
	蕾	ヒカゲイノコズチ、ヒヨドリバナ
	種・実	ヨウシュヤマゴボウ
	その他	
木本	花	クサギ、コマツナギ、ヒメハギ、フユイチゴ、ヤマハギ、リョウブ
	蕾	アセビ、キブシ
	種・実	アオハダ、イソノキ、クリ、ヤマボウシ
	その他	
シダ	ウラボシ(新芽)、シシガシラ(胞子葉)	
鳥	コゲラC	
イネ科		
タケ・ササ		
その他	アブラゼミC、カノコガ、キンモンガ、クロモジ、コクワガタ、コジキイチゴ、コムスジ、クロモジ、シラキ、ツクツクボウシC、ニワウルシ	

説明

※春・夏・秋の七草

※クリの話、ポロタン(渋皮が簡単に取れる。)

※スベリヒユを食料にする話

※ハイイロチョッキリの切った枝

※共進化と軍拡競争、モンシロチョウとアブラナ科の植物

※ツクツクボウシの抜け殻(雌雄の区別)

※アオハダの幹、光合成をしている

※ジカキムシ(ハモグリガ・ハモグリバエの幼虫)、葉っぱの入り口と出口

※ヒヨドリバナとアサギマダラ、植物の毒をため込み、自分の身を守る

※イソノキの葉の付き方、コクサギ型

※シャシャンボの葉の突起

説明(続き)

※ヤマハギとマルバハギの違い

※ヒメビシとオニビシ、ヒメビシと水鳥の関係